

青森県  
高校総体  
▷最終日◁

# 光星男子V2 光星女子 決勝で涙



【バスケットボール男子決勝・弘前実一八学光星】第4クォーター、光星は姥名隼大(6)がシュートを決め、追いつける＝八戸市東体育館

## 好機逃さず終盤逆転

△光星が連覇の栄冠に輝いた。新人戦、春大会で敗れた弘前実一に、リベンジを意図して練習してきたと坂尻信生主将。リードされ苦しい展開を乗り越えてつつかん逆転勝利に、選手たちは嬉しそうに喜びを爆発させた。

40分試合をするこゝを意図させたという佐々木彰彦コーチ。第3クォーターQ残り7分。相手は彼を追う場面から。最後は自分分が決めると、連続得点を決めて、同点に追いついた。持ち味である「全国大会につながる粘りのディフェンスでボールを奪い、冷静にパスを回してゴールへ運んだ。」

「困ったときはバスを引いて」とベンチでコーチの言葉を待たされて、反撃の機会を待たされた。姥名隼大は、ゴール前で力強さを発揮。6点を力を入れた。(里村伸)

### ポイント

逆転すればいい。佐々木コーチの言葉を待たされて、反撃の機会を待たされた。姥名隼大は、ゴール前で力強さを発揮。6点を力を入れた。(里村伸)

バスケットボール (八戸市東体育館)

【男子】

▽準決勝	弘前実	88	弘	前
△光星	73	88	工	大
▽決勝	弘前実	88	13	14
△光星	68	13	14	弘前実

△光星は4年連続15回目の優勝に輝いた。

第3Qまではプラン通り展開。主将関口由佳らを中心に内外からゴールを狙い、一時は7点をリードする場面も。しかし3点差で迎えた第4Qは開始直後から相手にペースを持って行かれ、大量得点を許した。

「格上の相手に粘って試合ができた点は良かった」と振り返った関口。「悔しさは次にふける」と、東北大会とインターカップに向けて前を掲げた。



【バスケットボール女子決勝・実一八学光星】第3クォーター、光星は関口由佳(4)がシュートを決め、リードを広げる

## 佐々木(八戸)男子頂点

新編総合運動公園テニスコート

【男子】

▽準決勝	明	6	3	川
△光星	6	1	菊	池
▽決勝	明	6	3	川
△光星	6	1	菊	池

【女子】

▽準決勝	加藤	あ	8	5
△光星	8	5	横	山
▽決勝	加藤	あ	8	5
△光星	8	5	横	山